



向上無限

生徒一人ひとりの可能性は∞無限大



学校便り
校長 仲盛康治
『心一つに』
『誰かの笑顔のために』
『明日が待ち遠しい学会』

12/17スポーツ報知の記事より

ファンケルキッズベースボール特別授業が16日、沖縄・那覇市の城北中学校で行われ、西武・山川穂高内野手（31）が母校に凱旋した。

卒業以来、16年ぶりの訪問で、在校生約400人の前で特別授業を行った。中学ではバレーボール部に所属し、クラブで硬式野球をしており、「バレーボールは楽しかったけど、野球は練習がきつくて、いつやめようかと思った」と意外な告白。それでも夢をあきらめない大切さを説き「長所を伸ばした方がいい。野球界にかかわらず一芸にたけている人が活躍している気がします。守備も下手で足も遅いけれど、打撃は誰にも負けないと思ってやってきた」と力説。「ホームラン王になるという夢を毎日思い続けていた。周りに言った方がいい。逃げられないから」と有言実行のススメを語った。

ファンケルキッズベースボールの総監督を務める巨人・原辰徳監督（64）がサプライズで登場するとどよめきが。山川とがっちり握手をした原監督は「みんなが平等にあるのは未来の時間。未来予想図を描くべきだし、こうなりたいと思うことはとても重要です。明日へのステップになります」と生徒の未来へエールを送った。

エールを送った



中一担任の
桃子先生と



山川選手が山川大雅君に
エールを送っています。

山川穂高先輩（埼玉西武ライオンズ）知 念那覇市長、原監督来校

十二月十六日にファンケルキッズベースボール特別授業としてサプライズがありました。那覇市民榮譽受賞者であり、今季パリーグホームラン王、打点の2冠及びベストナインの西武ライオンズ山川穂高選手（33期生）が本校を訪問。「野球」「夢」「地元沖縄」などについて未来を担う子供たちにメッセージを送って頂きました。サプライズゲストとして読売巨人軍原監督、知覚那覇市長が登場し、進行役を含め4人でのトークショーと実に豪華。原監督からは沖縄の県民性、気候、風土などに加え、沖縄出身のプロ野球選手の影響、地元首里出身の知覚市長には、「これからの皆さんに望むこと」など、思い出に残る出来事となりました。